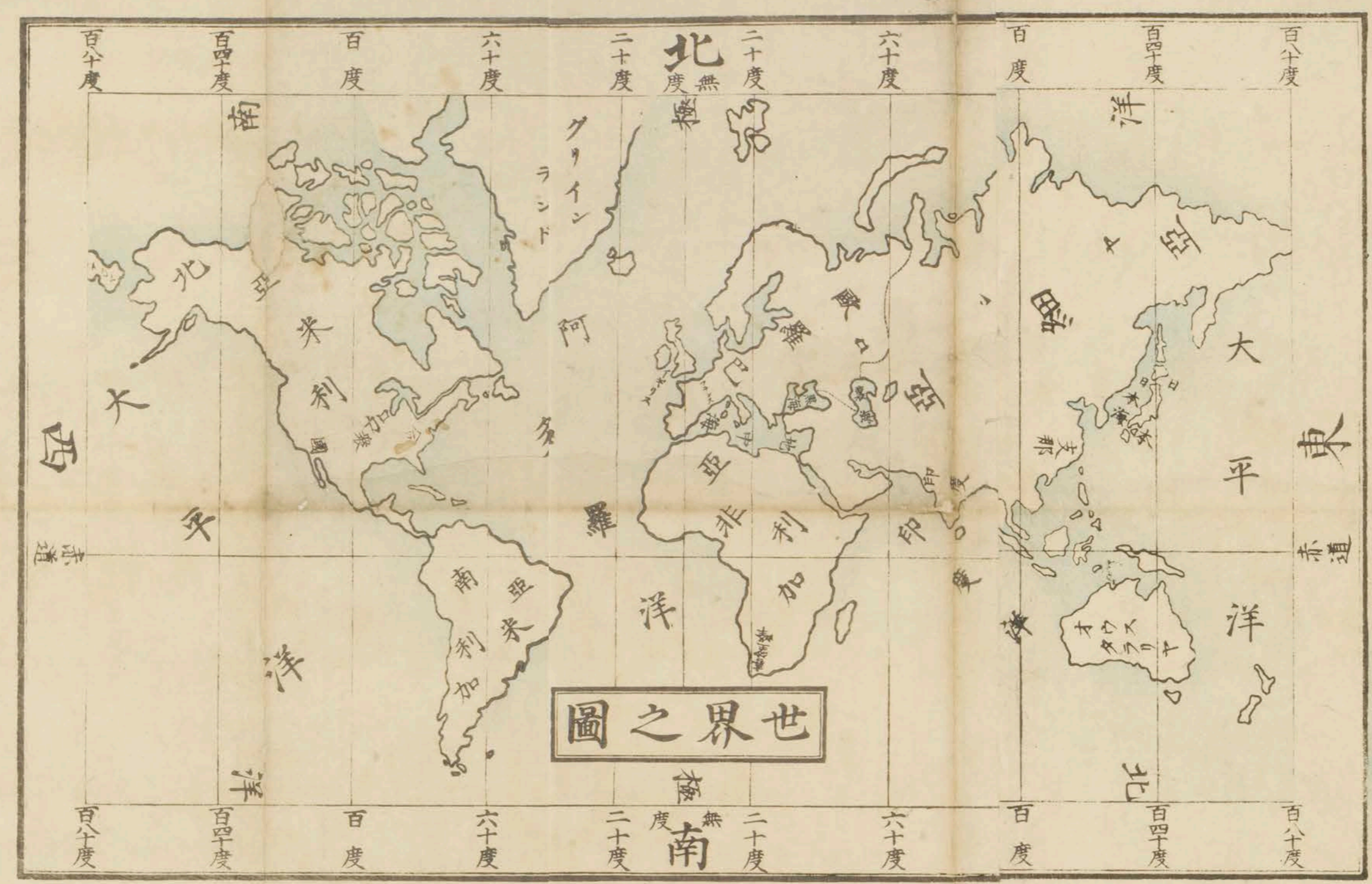


日本地圖草紙

渡島 十勝 日高 釧路 根室 石狩 天竺 北見 樺太



世界之圖

世間ニ刊行ノ地圖多シト云ハ大抵皆地理案内ノ實用ヲ主トシテ探索ヲ究メタルモノ、
 ミテ初學兒童ヘ地理ヲ教ルタメニハ却テ不利ナリ加之近來ハ彫刻ノ術次第ニ精巧
 ニ進ミ新鑄ノ地圖隨テ出レハ隨テ細微ヲ極メ方尺ノ紙ニ八十餘州ノ山川郡邑名所古跡
 ナ記レ盡レ肉眼以テ見ル能ハサルモノアリ六七歳ノ兒童初テイロハナ習ヒ初テ東南西南
 北ヲ知り正ニ八十餘ノ國名ヲ諳誦シテ未タ東京ノ東ニ在リ京都ノ西ニアルヲ辨セサル
 ノ時ニ當リ遠ニ細圖ヲ示シテコレヲ學ハシメントスルハ其難キヲ猶彼ノ讀書ノ初ニ經
 典ノ講義ヲ聽カシムルカ如シ教ル者ハ徒ニ勞レテ學フ者ハ實ノ益ナレ故ニ地圖ノ益密
 ナルハ兒童ノ爲ニハ蓋不便ナリ今此略圖ニハ唯國塚ト其國名トノミヲ記シ兒童ノ眼ヲ
 勞セシテ大畧ノ方位ヲ了解セシメンガタノ故サラニ其圖畫ヲ粗大ニセリ既ニ此粗圖
 ノ方位ヲ辨シタル後ニ他ノ細圖ヲ與ヘテ此彼相比較セシノ自カラ筆ヲ執テ彼ノ細圖中
 ノ山川郡邑等ヲ取リ略圖ノ白地ニ寫シテ置位ヲ誤ルヲ勿ラシム可シ或ハ學校教授ノ席
 ニ於テハ其寫法ノ巧拙ヲ以テ生徒學業ノ甲乙ヲ定ルモ可ナリ故ニ此圖ハ世間ノ實用ニ
 供ス可キ正圖ニ非ラス唯初學ノ兒童習字ノ傍ニ用ユ可キ地理ノ草紙ナレハ前ニ余ガ著
 シタル啓蒙手習ノ文ニ附屬セルモノト見做ス可キナリ

明治六年七月

福澤諭吉記

